

第76回国民体育大会冬季スキー競技会岐阜県予選会に関する連絡事項（1／17）

- 19日（火）の9：00～11：00に、モンデウススキー場にてトレーニングを行います。希望者は、レースオフィスグレンデ側出入口前に集合してください。（8時15分までに集合）
ただし、以下に該当する選手は参加できません。
 - *発熱、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ、味覚嗅覚以上のある方
 - *当日、集合時の体温チェックで、37.5度以上の熱がある方
- 当日のウォーミングアップは、フリー滑走のみとなります。
- 競技当日（20日）、参加選手は、『ウッドコース』、『ファミリアコース』において、高速滑走をしないでください。（原則、滑走禁止でお願いします）
- 20日（水）全競技終了後、参加選手はスタートに集合してください。ネット撤収、機材片付けの補助をお願いいたします。
- 20日（水）のリフト券販売時間は、8時00分から行います。
- 20日（水）の受付時間：コース係：8時00分～ 旗門員：8時50分～ 選手：7時30分～
 - ※コース係、旗門員の方はスキーセンター2Fにご集合ください。
 - ※選手は、レースオフィスグレンデ側出入り口付近で受付、ビブの受け渡し、体調管理チェックシート提出を行ってください。
- 参加選手、競技役員の方は、岐阜県国体予選用の体調管理チェックシートを必ず提出してください。
- 競技役員は、スキー場内において、必ずマスクの着用をお願いします。
- 参加選手は、競技中以外はマスクの着用をお願いします。

1 標記大会に参加するすべての方（選手、コーチ、競技役員等）は下記の注意事項をお読みいただき、新型コロナウイルス感染症感染防止に努めてください。

- 1) 以下に該当する場合は参加できません。
 - ・体調がよくない（発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、息苦しさ、味覚嗅覚異常等）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
- 2) 競技会関係者全員がマスクを着用してください。（競技中、選手の不着用は可とする）
- 3) 手洗い、アルコールによる手指消毒の実施（マイタオルを持参とする）を心掛けてください。
- 4) 他の人との距離をできるだけ2mを目安に確保し、大きな声でコーチング、会話や応援等は行わないでください。
- 5) 予選会に参加する選手、コーチ、および競技役員は別紙「体調管理チェックシート《レース2週間前～当日》」に記入し、チーム単位でまとめてレースオフィスに提出してください。
「体調管理チェックシート」は岐阜県スキー連盟 HP に掲載されています。
- 6) 競技会終了後、3日以内に大会参加者に体調不良者が出た場合及び、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会時の濃厚接触者も含めて、岐阜県スキー連盟競技本部アルペン部長に速やかに報告してください。
【岐阜県スキー連盟 競技本部アルペン部長 水田奈央生 090-5603-2515】
- 7) その他、ほおのき平スキー場内の利用における、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを遵守し、トラブルにならないよう行動してください。
- 8) 上記内容をご理解いただき、参加するすべての方が感染しない、広げない行動を意識して下さい。

2 競技運営における具体的な注意事項【重要：チームキャプテンは必ずご確認ください】

1) 開閉会式・表彰式及びチームキャプテンミーティング（TCM）について

- ①開閉会式は開催しない。
- ②表彰式の開催の有無においては、前日に連絡する。（岐阜県スキー連盟ホームページ、会場内アナウンス等）
表彰式を開催した場合、下記事項を守ること。
 - ・選手、授与者ともに手袋を着用し、握手やハグは行わない。
 - ・写真撮影を行う場合は、大きな声で会話をせず短時間で行うこと。
- ③国体出場選手及び中部日本スキー大会出場選手については、競技終了後指定場所へ集合してください。
- ④TCMは下記の方法で行う。
 - ・タイムスケジュール案を、1月19日（火）の正午に岐阜県スキー連盟HPにアップする。
 - ・1月19日（火）14:00～16:00の間にドロップの連絡または、競技会全体に関する質問を受け付ける。ただし、質問、ドロップ連絡ともに必ずチームキャプテンが行うこと。
連絡先 090-7434-6815 担当：谷村宗洋（競技委員長）
 - ・スタートリスト、タイムスケジュール（確定版）については、17:00に岐阜県スキー連盟HPにアップする。
 - ・ピブ配布については、20日（水）の朝、スキーセンターにて行う。
 - ・競技運営等において、重要且つ緊急な連絡がある場合は、20日（水）の朝に、チームキャプテンを招集する。
 - ・最新の連絡事項は岐阜県スキー連盟HPに掲載しますので、こまめにご確認下さい。

2) スタートエリア、スタートハウス内において

- ①スタートハウス内に入る役員は最小限とし、必ず常時マスクを着用する。ネックウォーマーも可とする。
- ②目からの感染防止のため、フェイスシールドやゴーグル、サングラスを着用する。
- ③ハウス内は2mのソーシャルディスタンスが確保できる人数とする。
- ④スタートエリア、ハウス内での大きな掛け声、話は禁止とする。

3) コース内、インスペクションにおいて

- ①インスペクションは、組で時間をずらし、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ②選手、コーチは常時マスクを着用する。ネックウォーマーも可とする。
- ③コース内において、大きな声での会話、指導を行わない。

4) ゴールエリアにおいて

- ①ゴールエリア内においてもソーシャルディスタンスを確保する。特にゴール後、呼吸が乱れている選手は、対人距離を確実にとること。
- ②ピブは、ゴールエリアに設置された回収箱に投入すること。